

IUC PFBT PhaseI

2005/5/13 N.Iida

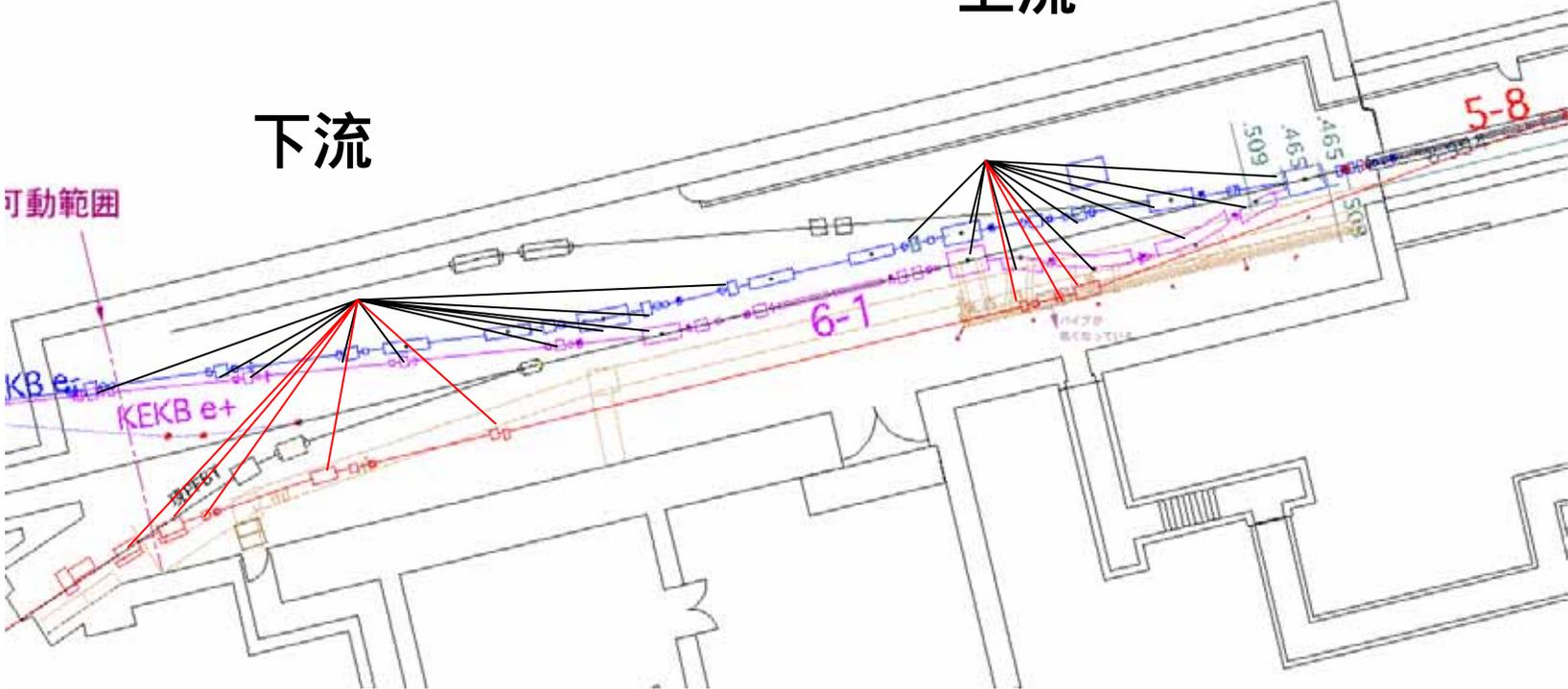
- 4/28作業報告
- 確認事項

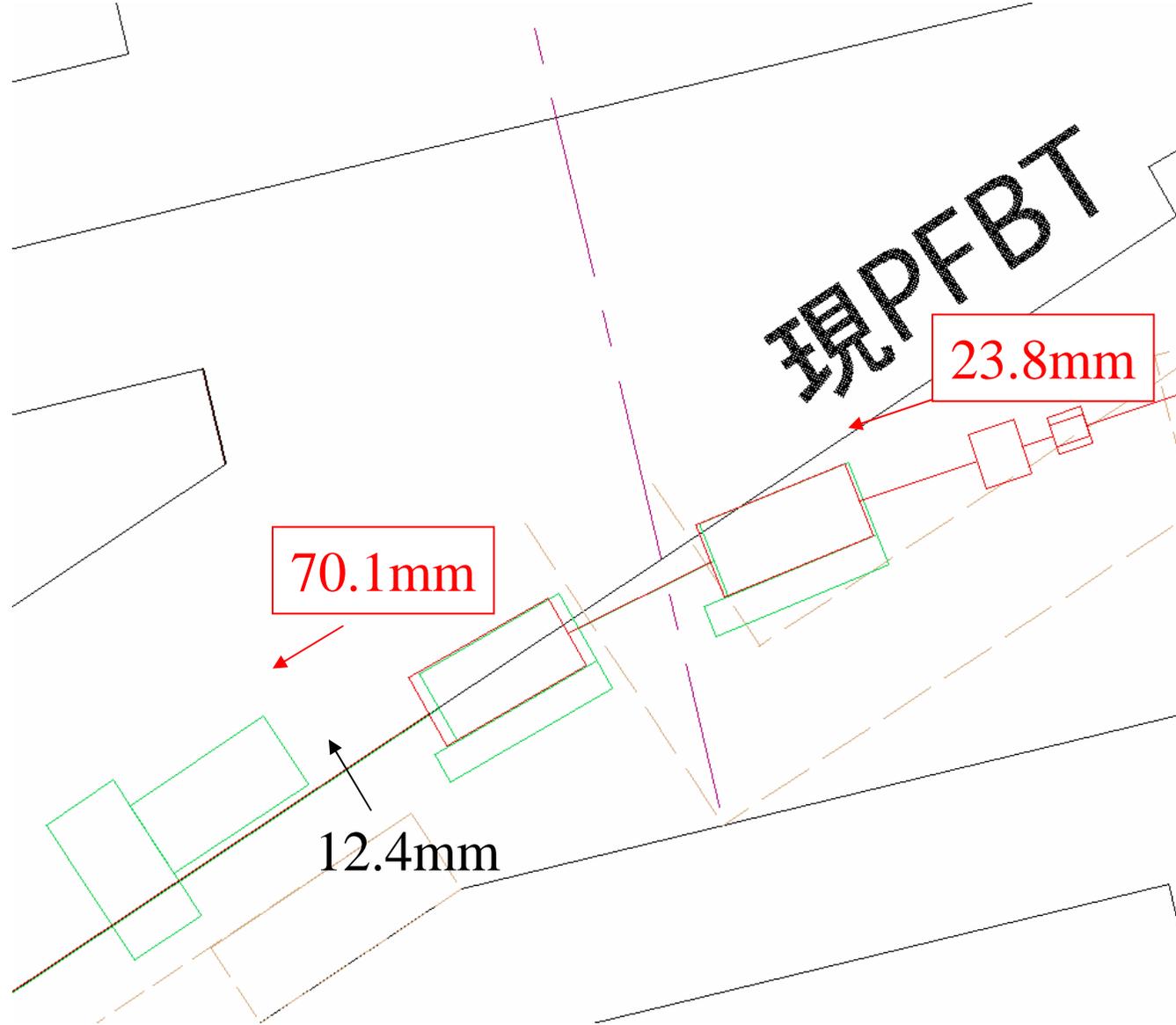
4/28作業報告

- 4/28(木)9:00 ~ 17:30
- KEKB/BT line 測量
 - 1998年の測量結果 (by竹内氏) と比較
 - 上流: 二乗平均で、 ~ 0.16mm。
 - 下流: 二乗平均で、 ~ 0.23mm。
 - この座標系でNew PF line の位置 (Magnet、 BPM) をマークした。
 - 今までの設計値とのずれ
 - PF lineとの合流位置が約12.4mmずれていた。
 - BH11-BH12間の距離を正確に入れていなかった。
 - BH11上流のdrift space長さを+23.8mm、 BH12下流のdrift space を-70.1mm変更の必要あり。

上流

下流





現PFBT

23.8mm

70.1mm

12.4mm

確認事項

- 夏の作業

- 解体

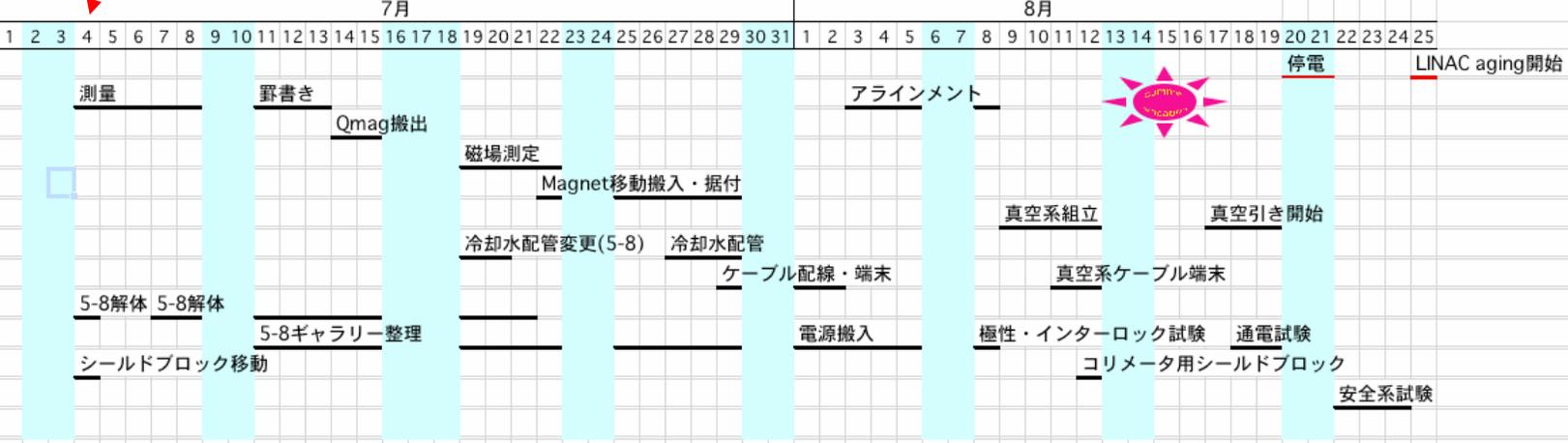
- 電磁石電線外しは、A社に依頼した。モニター類は、PFグループ?
 - 真空解体およびケーブル撤去
 - PFグループ?
 - 測量後、行う。
 - PBマグネット撤去もPFグループに。

- LINAC側の新ケーブル

- 敷設は、マグネット関係をB社、真空関係とモニター関係をC社が受け持つので、経路を相談しておくこと(5/19)。

シールド搬出

Phase-1A 工程概略 (SY3トンネル内作業のみ)



	KEK担当	担当業者	範囲・留意事項
5-8解体	紙谷		
Mag搬出搬入移動据付	飯田		測定の前にPulse bend予定地を更地にする
Mag架台	飯田		現PFBTラインのQmag(QC1)も含む
シールド	佐藤		製作(BPM架台も含め統一的に)
冷却水配管変更	竹中->施設		シールド配置
電磁石系冷却水配管	竹中		竹中経由施設
ケーブル配線	竹中		取水口の検討
磁場測定	BTG		ケーブル・ケーブルラックの敷設
測定	BTG		63φQmagと52φQmagとの比(63φQmagは3A110V) ,BP,BHO
郵便書き	BTG		各ラインの現況の測定
アラインメント	BTG		マーカ-の設置、新ライン・アンカー位置の郵便書き
極性・インターロック試験	紙谷		精密アラインメント
通電試験	紙谷		新設・変更箇所すべて
モニター	諏訪田		電源の立ち上げ、制御システムの立ち上げ
真空系組立	柿原		
安全系	本間		WS移動、ダクト架台の製作、設置を含む
			設計・試験

MHI : 三菱重工
H :
M :
B :

確認事項(続き)

- 放射線シールド確認
 - BH12下流のシールドは必要か？